

**「健康経営優良法人 2023 ホワイト 500」に7年連続で認定**

JT は、2023 年 3 月 8 日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2023（大規模法人部門、以下「ホワイト 500」）」に認定されました。本制度が開始された 2017 年から7年連続の認定となります。

「ホワイト 500」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大規模法人の中で、健康経営度調査結果の上位 500 法人を認定する制度です。

これまでも当社は、従業員の健康増進が企業の持続的成長に不可欠な要素であるとの認識のもと、従業員一人ひとりの心身がともに健康で、安心して仕事に専念できる環境整備に積極的に取り組んできました。



2022 年も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の環境下においても従業員やその家族、全てのステークホルダーの安全を最優先と位置づけ、必要な感染予防対策を徹底しつつ事業活動を継続するとともに、「働きやすい職場づくり」の一環として在宅勤務やオンライン会議等を柔軟かつ積極的に活用する「多様な働き方」を推進してきました。

このたびの認定は、これら「健康経営」の取り組みが評価されたものと考えています。

今後も当社では、従業員の健康増進を重要な経営課題のひとつと位置づけて、積極的に取り組んでまいります。

**<JT の「健康経営」に関する主な取り組み>****■ 充実した健康支援体制**

- ・ 経営トップによる「健康経営宣言」のもと、People & Culture 担当役員を健康経営推進責任者とした従業員の健康支援体制を構築。
- ・ 身体健康/心の健康/エンゲージメント/労働生産性を主要な観点としたモニタリング指標を設定し、従業員の健康増進に向けた取り組みについて、それぞれの施策で PDCA による継続的な改善を実施。
- ・ 本社内に健康支援を推進する専門部署を設置するとともに、全国 11 カ所のエリアに保健スタッフ（医師 11 名、保健師 34 名）を配置しており、全従業員を対象に健康診断結果や個人生活習慣に関するアドバイスを行っている他、地域特性等も踏まえた啓発イベントを事業所ごとに定期的に開催する等、きめ細かい健康支援を実施。

**■ 「多様な働き方」を支える環境づくり・制度**

- ・ 誰もが自分らしくいきいきと働き、その能力を発揮できる職場環境の構築を推進。
- ・ 多様な働き方を選択・実現できる諸制度の充実。  
※フレックスタイム制度でのコアタイムや在宅勤務の日数制限の撤廃、保育施設や育児に関する補助、介護休暇や介護費用の一部負担 等

■ 新型コロナウイルス感染症に対する対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインを適切に更新し、正確な情報提供によるリスク対策。
- ・ 在宅勤務やオンライン会議等を柔軟かつ積極的に活用し、職場環境に応じた感染予防対策の徹底。
- ・ 新型コロナウイルスワクチンの職域追加接種について、2022年は国内全13会場で約5千人に実施。

■ 心身の健康増進に向けた取り組み

- ・ 従業員の多様性を尊重する観点から、個々人の生活環境や価値観に基づき、自分に合った自分らしい健康づくりができるよう、多様性に根差した健康支援を推進。
- ・ 2022年より「健康支援費用補助」制度を導入。従業員やその家族の健康状態に応じて、自ら選択した検査や予防接種等の費用に対し一定金額の補助を実施。
- ・ 健康ポータルサイト「Pep Up」を活用し、運動習慣のきっかけ作りと職場の活性化、そして社会貢献活動を兼ねた「ウォーキングラリー」を年2回開催。2022年は全国のべ、5,415人の従業員が、個人・チームで参加。最終的には途上国の子どもたちへ1,858,860円を寄付。
- ・ 従業員が楽しみながら体験できる「JT健康づくりプログラム」（運動、食事、睡眠等、約40テーマ）の中から、各職場のニーズや課題感に応じたメニューを実施。



「健康支援費用補助」として、人間ドックなどの検査等の費用を一定金額会社として補助

※ 詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください。

[https://www.jti.co.jp/sustainability/people/health\\_safety/index.html](https://www.jti.co.jp/sustainability/people/health_safety/index.html)